

教科 技術・家庭(技術分野) 学年 第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
デジタル作品の設計と制作 ①生活の中のメディア ②デジタル作品の構想 ③情報の収集と加工 ④作品の制作・発表 1 プレゼンテーション 2 Webページ 3 動画作品	8	○生活の中で利用されているメディアの特徴と利用方法を知る。 ○目的や条件を考えて、メディアの特徴をいかした、デジタル作品を設計する。 ○制作工程表にそって、必要な素材を集めて加工し表現することができる。 ○目的に合った表現になるように工夫して制作し、発表することができる。	・情報の使いやすさやわかりやすさに関する工夫を理解し、メディアの特性を踏まえたデジタル化の方法や情報を利用するための基本的な仕組みを説明できる。 ・双方向性のあるコンテンツの仕組みを理解し、簡単なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。	・双方向性のあるコンテンツに関わる問題を見だし、課題を設定できる。 ・使用するメディアを複合する方法と効果的な利用方法など利用者に配慮した解決策を構想し、情報処理の手順を具体化することができる。 ・制作工程表に基づき、設計と実際の動作を確認しながら合理的な解決作業を考えることができる。 ・問題解決を振り返り、社会からの要求を踏まえ、プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。	・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 ・知的財産を創造、保護、及び活用しようとしている。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み  エネルギー変換の技術による問題解決  社会の発展とエネルギー変換の技術	15	①エネルギー変換の技術とは何だろう ②発電の仕組みと特徴 ③電気を供給する仕組み ④電気回路について考えよう ⑤電気機器を安全に使用するための技術 ⑥運動エネルギーへの変換と利用 ⑦回転運動を伝える仕組み ⑧機械が動く仕組み ⑨機械の共通部品と保守点検の大切さ ⑩エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう	電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解している。  安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。  生活や社会、環境との関わりを踏まえて、エネルギー変換の技術の概念を理解している。	エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。  問題を見だして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。  エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。  よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。  よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
生物育成の技術の原理・法則と仕組み  生物育成の技術による問題解決  社会の発展と生物育成の技術	10	①生物育成の技術とは何だろう ②作物の育成環境を調節する技術 ③作物の成長を管理する技術 ④動物を育てる技術 ⑤水産生物を育てる技術 ⑥生物育成の技術の工夫を読み取ろう	育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。  安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる技能を身に付けている。  生活や社会、環境との関わりを踏まえて、生物育成の技術の概念を理解している。	生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。  問題を見だして課題を設定し、育成環境の調節方法を構想して育成計画を立てるとともに、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。  生物育成の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。  よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。  よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。